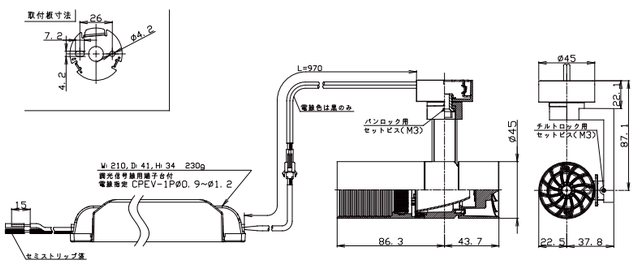
## MMP-060S/5H/FS/10A/L1/1

単位：mm




| | |
|---|---|
| 器具質量 | 0.47kg |
| 首振角度 | 上10°　下90° |

| | | |
|---|---|---|
| 専用光源 | LED モジュール | |
| 専用電源 | 定電流電源 | |
| ドライバー入力 | | |
| 入力電圧 | 100V/200V/242V | |
| 入力電流 | 0.153A/0.083A/0.075A | |
| 消費電力 | 14.9W/15.4W/15.8W | |
| 周波数 | 50Hz/60Hz | |
| 器具入力 | | |
| 入力電圧 | 32.6V | |
| 入力電流 | 0.38A | |
| 光源・電源付き | | |
| 調光方式 | DALI制御方式 | |
| DALIシステム調光器：(Device Type6) | | |
| オプション | フルディフューザーレンズ | MLA-060/DF01 |
| | セミディフューザーレンズ | MLA-060/DS01 |
| | フルスプレッドレンズ | MLA-060/SF01 |
| | セミスプレッドレンズ | MLA-060/SS01 |
| | エッジコントロールレンズ | MLA-060/EC01 |
| | シャープナー（N配光専用） | MLA-060/SH01 |

# ModuleX

保存用

# Installation Guide | Lighting Fixture

## 取付説明書（照明器具）

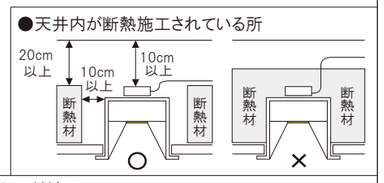
## MMP-060S/5H/FS/10A/L1/1

**お買い上げありがとうございました。ご使用前に必ずお読みください。**
**取付工事は電気工事店に必ず依頼してください。**
**この説明書は取付工事が終わりましたら製品をご使用になるお客様に必ずお渡しください。**

**ご注意**　付属のドライバーは銘板に「**380mA**」と記載されたシールが貼付されたものをご使用ください。

### 安全に施工していただくために《 各作業前に必ずご確認ください 》

| | |
|---|---|
| ⚠ 警告：誤って使用すると、人身事故につながるおそれがあります。 | ⃠：禁止事項 |
| ⚠ 注意：誤って使用すると、物的損害につながるおそれがあります。 | ❗：厳守事項 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 取付前に | ⚠警告 | ⃠ | この器具は、一般通常環境の屋内専用器具です。<br>下記の使用環境・条件では使用不可です。（落下・感電・火災の原因）<br>●周囲温度0℃以下35℃以上　●器具重量に耐えられない天井<br>●湿気の多い所　●傾斜・凹凸天井<br>●屋外　●床面<br>●空調や風の受ける所　●火気の近く<br>●振動、衝撃を受ける所　●粉塵、腐食性ガス 発生場所<br>●直射日光の当る場所<br>使用環境に適合するかの判断が困難な場合はお問い合わせください。<br>●天井内が断熱施工されている所<br>  <br> |
| | | ⃠ | 点灯時、消灯直後は高温になります。容易に触れられない箇所に設置してください。 |
| | ⚠注意 | ❗ | 屋内でのご使用の場合でも、器具周辺に硫黄成分を含んだ物がある場所では使用しないでください。<br>（一部の食品・薬品・紙類・ゴム製品、車の排気ガスにも硫黄成分が含まれる場合があります） |
| | | ❗ | 被照射面までの距離は、器具本体表示または仕様書に従ってください。（被照射物の変色・変質・火災の原因） |
| 電気配線時に | ⚠警告 | ❗ | 電気工事は必ず有資格者が行ってください。（事故の原因） |
| | | ❗ | 適合電源・適合ドライバをご使用ください。（不点灯・火災の原因） |
| | | ❗ | 電源電圧は、器具銘板または本説明書に記載されている電圧±6%内でご使用ください。（感電・火災の原因） |
| | | ❗ | 配線部品を使用の際は、破損のないことを確認のうえ使用してください。（落下・損傷の原因） |
| | | ⃠ | 活線施工を行わないでください。感電・製品故障となる可能性がございます。 |
| | | ⃠ | 器具故障に繋がりますので、同じ回路に他の電子機器（換気扇などのモーターを使用する機器）を設置しないでください。 |
| 器具取付時に | ⚠警告 | ❗ | 器具の取付は、器具本体表示または本説明書に従い確実に行ってください。（落下・感電・火災の原因） |
| | | ❗ | 地震等による落下を防ぐためにセーフティクリップが標準装備されている機種は必ず本説明書に従い確実に取付けてください。 |
| | | ❗ | 器具取付・ランプ装着の際は必ず電源を切ってください。（感電の原因） |
| | | ⃠ | 点灯中、消灯直後は高温のため器具に触らないでください。（やけどの原因） |
| | | ⃠ | 布や紙、断熱材を器具の上に置いたり被せたりしないでください。（不点灯、火災の原因） |
| | | ⃠ | 器具の隙間に金属や燃えるものを入れないでください。（感電、火災、器具故障の原因） |
| | | ⃠ | 器具の分解・改造はしないでください。（感電・火災・落下・故障の原因） |
| | | ⃠ | 濡れた手で作業しないでください。（感電の原因） |
| | | ⃠ | 製品本体ではない電線やケーブルを掴んで持ち上げないでください。破損する可能性がございます。 |
| | | ❗ | 煙や異臭等の異常を感じた場合は、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。（感電・火災の原因） |
| | ⚠注意 | ❗ | 器具の取り付け取り外しはきれいな手袋など、保護具を使用してください。（けがの原因） |
| | | ❗ | スプリンクラー等の防火設備に器具の熱が影響しないように施工してください。（誤作動の原因） |
| | | ❗ | ラジオなどの通信機器の近くで点灯しますと、機器にノイズが入ることがありますのでご注意ください。 |

# 取付説明書

ModuleXを安全に設置していただくために

## MMP-060S/5H/FS/10A/L1/1

| | 取付内容 | 取付図・注意図 |
|---|---|---|
| | **取付方法** | |
| 1 | 取付板を補強材のある被設置面に付属のビス(M4)で取り付けてください。<br>コンクリートに取付ける場合はコンクリートビスをご使用ください。 | 1 取付面 / 取付板 |
| 2 | 取付板の突起とケースの目印を合わせてカチッと鳴るまで時計回りに回してください。<br>ケースと取付板がロックされます。 | 2 取付板突起 / ケース目印 |
| 2′ | ロックを解除して照明器具を取り外す場合はロック解除穴に付属の六角レンチまたは∅2㎜以下の細長い棒を挿入しロックを解除しながら器具を反時計回りに回してください。 | 2′ 本体ロック解除 |
| ⚠ | 器具を取り付けたのちしっかりと取り付いていることを確認してください。 | 取付板寸法 26 / 7.2 / φ4.2 / 4.2 |
| | **結線方法** | |
| 1 | 一次側端子台の樹脂カバーを取り外してください。 | 1 プラスドライバーの番手は1番をご使用ください。 |
| 2 | ドライバーの電源線と屋内配線を接続してください。 | 2 屋内配線 / ドライバーの電源線 AWG#16 撚り線 1.25mm² / 接続例) VVFケーブル∅1.6と圧着接続する際にはJISC2806のB形スリーブを使い電気設備技術基準に従って適切に施工してください |
| 3 | 信号線を右図の通り接続してください。 | 3 一次側電源 L N / DALI(制御盤より) / DALI(極性なし) / 電源線 / ドライバ側に送り端子がないためジョイントをお願いいたします。 / 信号線 9mm / CPEV-1P∅0.9～∅1.2の枝線を用意し、ドライバーに接続してください。枝線は幹線にジョイントしてください。 / 解除ボタン / N L + - DA ※1 |
| 4 | ドライバーの二次側コネクターと器具側コネクターをつなげてください。 | 4 ドライバー側コネクター / 器具側コネクター / 差し込んだ後、抜けない事を確認してください。 |
| 5 | 一次側端子台の樹脂カバーをもとの位置に取り付けてください。 | |
| ⚠ | コネクターは確実に接続してください。<br>はずす場合は、インナーロックを押しながら引きます。<br>電源を入れた状態でのコネクター接続はしないでください。<br>(LED故障の原因)<br>コネクター接続部分に張力がかからないようにしてください。<br>コネクターの内側のピン(金属部分)を直接手で触れないで下さい。 | ※1. ドライバーのラベルには+ - の表記がありますがDALIの極性はございません。 |
| 6 | 接続後、専用ドライバーは天井内に設置してください。 | 6 2-∅4.4 取付穴 / 182 取付穴位置 / 器具からの熱の影響を受けない位置に固定してください。 |
| ⚠ | 器具から熱の影響を受けない一に固定してください。器具に電線・コネクターが接触しないように置いてください。<br>ドライバーが天井内で横転・逆転しないように気をつけて設置してください。 | |

| | 取付内容 | 取付図・注意図 |
|---|---|---|
| | **照射方向の調節** | 灯具可動範囲 |
| 1 | 灯具を持って照射方向を調節してください。 | 上10° / 下90° / 380° |
| ⚠ | 灯具を可動範囲以上に無理に回転させないで下さい。<br>点灯時は灯具表面が高温になります。<br>点灯時に灯具を調節する場合は火傷に十分にご注意ください。 | ⚠ 照射向き<br>灯具を上向きに照射しないでください。発光部に埃が堆積すると加熱され非常に危険です。 |
| | **オプション取付** | |
| 1 | フードを矢印方向に回転させ、カチッとなるまで回してください。 | ボディ / フード |
| 2 | フードをボディから外してください。 | |
| 3 | フード内部に装着されているオプションホルダを取り外してください。 | |
| 4 | フィルターを入れてください。 | オプションホルダ / フィルター / フィルター最大2枚まで装着可 |
| 5 | オプションホルダをフード内部に取り付けてください。 | |
| ⚠a | 3枚のフィルターの取付など無理な取付はしないでください。<br>照明器具本来の性能を損なう可能性があります。 | ⚠a フィルター最大2枚まで装着可 / オプションホルダ / シャープナーレンズ |
| ⚠b | フードとボディは取付位置が決まっております。<br>必ず右記注意図を確認して取付てください。 | ⚠b ボディとフードを上記目印に合して取り付ける / スライドしてロックする |
| ⚠ | オプションホルダを回す際は工具(マイナスドライバー)を切りかきにひっかけて回してください。 | 切りかき |
| | **パンロック・チルトロック** | パンロック / チルトロック |
| 1 | 右記に記載されているビスを付属されている六角レンチでチルト・パンロックをしてください。 | |
| ⚠ | 器具の照射角度を設定する際は必ず付属の六角レンチ(M1.5)をご使用ください。<br>必ず大切に保管してください。 | |

お問い合わせは 株式会社モデュレックス
ModuleX
TOKYO TEL. 03-5768-3681 東京都渋谷区恵比寿南 1-20-6 第 21 荒井ビル
OSAKA TEL. 06-6121-7888 大阪市中央区久太郎町 3-3-9 ORIX 久太郎町ビル 1F
FUKUOKA TEL. 092-732-4211 福岡市中央区大名 1-8-30-1

## ■器具の寿命について

照明器具には寿命があります。
設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。

※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯です。(JIS C 8105-1解説による)
・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
・3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
点検せずに使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る恐れがあります。

## ■保証について

**保証期間**

弊社独自の長期保証期間を定めています。

**保証内容**

製品の不具合が発生した場合製品毎の保証期間と条件によって無償修理
または無償交換致します。照明器具の施工により破損や施工に関わる部材などは
保証の対象外になります。

**修理のご依頼について**

保証期間が過ぎている場合、また、保証条件にあたらない場合は、
有償修理とさせていただきます。

**保証条件**

詳細な保証条件につきましては、「保証書」に記載しております。

※詳細につきましては、弊社営業担当へお問い合わせください。

## ■アフターサービスについて

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い求めの販売店または弊社営業所にお問い合わせください。

作成 2020.7.31

お問い合わせは　株式会社モデュレックス
ModuleX
TOKYO　TEL. 03-5768-3681
東京都渋谷区恵比寿南 1-20-6 第 21 荒井ビル
OSAKA　TEL. 06-6121-7888
大阪市中央区久太郎町 3-3-9 ORIX 久太郎町ビル 1F
FUKUOKA　TEL. 092-732-4211
福岡市中央区大名 1-8-30-1

# ModuleX

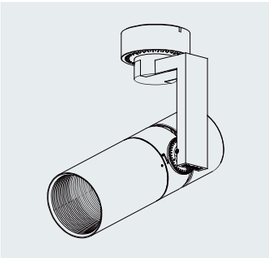
## ModuleX Maintenance

ModuleXを安心してお使い頂くために

MMP-060S/5H/FS/10A/L1/1

# Maintenance guide

## MMP-060S/5H/FS/10A/L1/1



| | |
|---|---|
| 適合電圧 | 100/200/242V |
| 消費電力 | 14.9/15.4/15.8W |
| オプション装着 | Filter 2枚 装着可能 |
| 調光方式 | DALI制御方式 |
| DALIシステム調光器 | Device Type6 |

| | |
|---|---|
| 光源 | LED モジュール |
| 色温度 | 2400K(電球色)<br>2700K(電球色)<br>3000K(電球色)<br>3500K(温白色)<br>4000K(白色) |

※光源の交換の際はお問い合わせ下さい
※電源を入れてから点灯するまでの時間が器具によってバラつく場合があります

専用ドライバー　SL0360A○PSE
（○の部分はバージョン情報です）

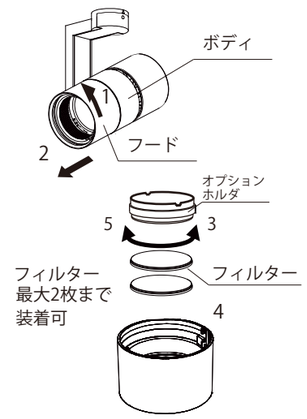
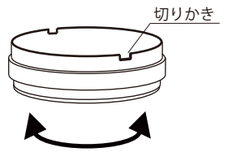
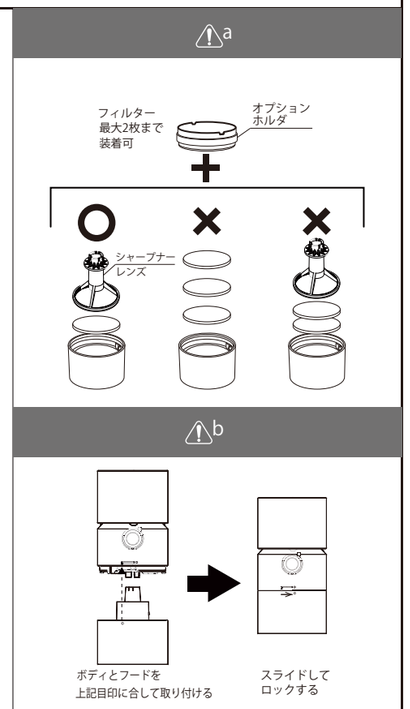
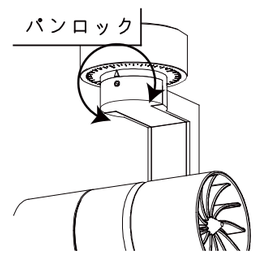
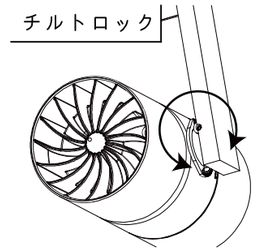
2次側コネクター仕様

※電源を入れてから点灯するまでの時間が器具によってバラつく場合があります
※専用ドライバー交換の際はお問い合わせください
※電源の交換は必ず有資格者(電気工事士)がおこなってください

### 安全に施工していただくために《 各作業前に必ずご確認ください 》

| | | |
|---|---|---|
| ⚠警告：誤って使用すると、人身事故につながるおそれがあります。 | | ⊘：禁止事項 |
| ⚠注意：誤って使用すると、物的損害につながるおそれがあります。 | | ❗：厳守事項 |
| ⚠警告 | ❗ | 器具やオプションの取付は、器具本体表示または本説明書に従い確実に行ってください。（落下・感電・火災の原因） |
| | ⊘ | 点灯中、消灯直後は高温のため器具に触らないでください。（やけどの原因） |
| | ⊘ | 布や紙、断熱材を器具の上に置いたり被せたりしないでください。（不点灯、火災の原因） |
| | ⊘ | 器具の間に金属や燃えるものを入れないでください。（感電、火災、器具故障の原因） |
| | ❗ | 器具取付部以外の本体外郭が天井内外の造営材やダクト等の設備に接触しないように施工してください。（落下・感電・火災の原因） |
| | ⊘ | 器具の分解・改造はしないでください。（感電・火災・落下・故障の原因） |
| | ⊘ | 濡れた手で作業しないでください。（感電の原因） |
| | ❗ | 煙や異臭等の異常を感じた場合は、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。（感電・火災の原因） |
| | ❗ | コネクタを接続及び外す場合は、必ず電源を切ってから作業して下さい。 |
| ⚠注意 | ❗ | スプリンクラー等の防火設備に器具の熱が影響しないように取付してください。（誤作動の原因） |



## ■オプションの交換について

| | 取付内容 | 取付図・注意図 |
|---|---|---|
| | オプション取付 | |
| 1 | フードを矢印方向に回転させ、カチッとなるまで回してください。 | |
| 2 | フードをボディから外してください。 | |
| 3 | フード内部に装着されているオプションホルダを取り外してください。 | |
| 4 | フィルターを入れてください。 | |
| 5 | オプションホルダをフード内部に取り付けてください。 | |
| ⚠a | 3枚のフィルターの取付など無理な取付はしないでください。照明器具本来の性能を損なう可能性があります。 | |
| ⚠b | フードとボディは取付位置が決まっております。必ず右記注意図を確認して取付てください。 | |
| ⚠ | オプションホルダを回す際は工具(マイナスドライバー)を切りかきにひっかけて回してください。 | |
| 1 | パンロック・チルトロック<br>右記に記載されているビスを付属されている六角レンチでチルト・パンロックをしてください。 | |
| ⚠ | 器具の照射角度を設定する際は必ず付属の六角レンチ(M1.5)をご使用ください。<br>必ず大切に保管してください。 | |